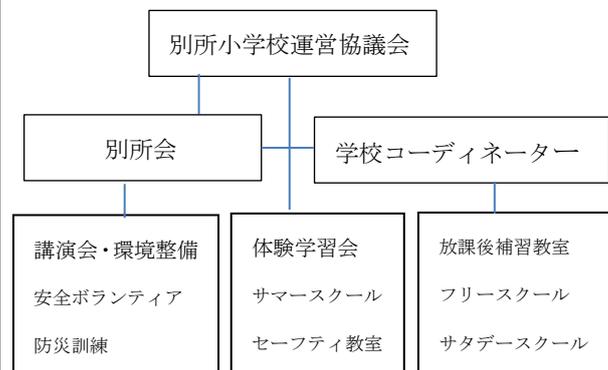


## ■活動の目的・概要

○地域で育つ子どもたちの安全を守り、健全な育成を目的として、学力向上の取組や生きる力を育てるための様々な体験学習等の活動を学校・保護者・地域と連携して行っている。



## ■活動の特徴・工夫

### ○セーフティ教室

学校との協働事業として、高学年児童を対象にSNSについて、スクールソーシャルワーカーを講師に招いて講演会を行い、SNSの危険性や自分の安全を守るための学習を提供している。保護者へは、「子どもの安全をどう守るか」というテーマで講演会と意見交換会を行い、地域で子どもの安全を守っていくための考えを深める活動となっている。



### ○夏休み中の特別教室

夏休み中の児童の安否確認と、宿題や自由研究に困っている児童への支援を行うために、地域・保護者の協力者と学生ボランティアに協力してもらい、学校の図書室や家庭科室等で学習教室や工作教室を行っている。地域で子どもたちの健康状態の確認をし、安全を守るという意味で、有効な活動となっている。



### ○障害者スポーツ体験学習会

「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」にもあるように、共生社会をめざし、学校と地域が連携して、障害者理解教育を推進していくために、児童の福祉に関する学習を学校との協働事業として行っている。パラアスリートの招聘を行う活動は、児童の障害者理解が深まると同時に、生き方を学ぶ機会になっている。



### ≪特記事項≫コロナ禍における特徴的な取組

コロナ禍においては、オンライン出前授業という形で、アスリートを招聘し、体験学習会を行うことができた。